

二見中だより 第18号

文化祭が終わりました

長い取り組みを経て、第72回文化祭が終わりました。教頭先生の講評にもありましたとおり、取り組みの中で、いろいろ大変なことがあったと思います。それを乗り越えてみんな頑張ってきたのだろうと、頭が下がる思いです。文化祭の詳細は各学年からの通信に譲るといたしまして、ここでは全体を見ての思いを順不同でまとめさせていただきます。

- ・みんなで文化祭をつくるーその言葉どおり、観覧態度がとてもよかった。それが会場全体に伝染し、いい雰囲気をつくっていた。
- ・生徒会総務はいつスローガンの看板を作り、いつオープニングセレモニーの練習をしたんだろう？合唱部はいつ芸術鑑賞会のことまで練習していたんだろう？みんなみんな何曲もいつ練習したんだろう？すごい時間の使い方！定められた時間の中でやり切るから素晴らしい。
- ・ドイツ語、沖縄方言・・・どうやって覚えるの？しかも自クラスの合唱と並行で・・・
- ・体育館に入るとシートが敷かれてあって、椅子や合唱台が並べられ、看板が掲げられている。楽しいセレモニーがあり、順調に進行していく・・・。何気ないようだけど、全て準備してくれた人がいてのことです。準備してくれた人に感謝！
- ・来賓の方々に「どの学年も素晴らしいですが、3年生は聴いて帰ってください。」と私はお話ししています（それって最後までいて！ってことです）。やっぱりすごかった3年生。
- ・3年学年合唱。ピアノと入場がずれたら、どうするんやろう？という素人の素朴な疑問。
- ・文化祭のプログラム順が秀逸。
- ・普段週1時間しかない音楽の授業なのに、なぜここまでみんなは歌え、素晴らしい文化祭をつくりあげることができるのか？指導者とみんなの頑張りに感謝！
- ・オペラ、自分には縁遠い世界のものと思っていましたが、一度聴いてみたくなりました。
- ・来賓の方々から、「いい文化祭でした」「感動しました」のお声をたくさん頂戴しました。



展示 実は大好きです！

今年も1時間半かけて、全部を見て回りました。“モノづくり”が大好きですので、展示作品や研究発表を見るのはとても楽しいです。中でも特に好きなのが、理科の自由研究です。画用紙をつなげて、自身の手で書く。写真やグラフを貼ったり、研究結果もすぐには出ない。その『アナログ感』こそが素晴らしい！美術の技能をいかして題字をレタリング、数学の知識を使って計算をし、国語の知識を使って文章を書く。“モノづくり”は様々な学習の集合体です。そんな時間が学校から減りつつある今、理科の自由研究は大事にしてもらいたいです。そしてできれば歴史新聞もですが、課題用に特集されているインターネットや書籍丸写しではなく、あくまで自身の知恵で仕上げられたらいいですね。

今まで感動したテーマでこんなものがありました。
『市販の乾電池、一番長持ちするのはどれか？』『泡石鹼、液体が入っているのに、なぜ泡で出てくるのか？』『(車の)車庫入れが下手なお母さんを助けるポイント』といったものがありました。そして今回印象に残ったテーマは花飾りのついた優秀作の『水の電気分解』『逆立ちごまの原理』『紙を比較する』『環境汚染』は勿論、『試合前の食事』『ラベンダーの香りです本当にリラックスできるか』『ジュースに含まれる糖分』『タコの下ごしらえ』『ペーパークロマトグラフィー』などです。今後も工夫を凝らした研究発表に期待しています。

その他、文化部の発表作品も含め、たくさんの展示作品がありました。展示は地味ではありますが、作品づくりは自分を大きく成長させます。より多く、質を高めた展示作品を来年も待っています。

「トライやる・ウィーク」短歌 (2年男子)

ハンデ持つ 子との信頼持つ先生 どんな時でも 笑顔の



☎10月26日(土)『あかしふれあいコンサート』(大久保イオン)に吹奏楽部が出演しました。

お知らせ

11月6、7日のオープンハイスクールの日は、3年生は2校時終了後、全員下校になります。

